

みんなで作る

花とみどりの 香るマチ

街を美しく彩り、生活に潤いを与えてくれる草木や花々。
 今回の特集では、街のみどりに携わる活動をしている方々への
 インタビューを通して、花やみどりと触れ合う暮らしの魅力に迫ります。

【詳細】みどりの活用担当 ☎211-2522

みどり豊かな街を目指しています

市は昨年度、みどりあふれるまちづくりを進めるための「みどりの基本計画」を改定。目指す将来像や目標の基となる4つの視点を定めています。

人と自然の共生

自然環境を守り、教育や触れ合いの場として活用する

資源の有効活用

公園の活用のほか、まちづくりと運動したみどりの空間を創出する

都市の魅力の向上

都市の顔となる都心部にみどりの空間をつくって魅力を高める

地域コミュニティの醸成

人々が公園や緑地に集うことで地域のつながりを育む



ボランティアが支える大通公園

自然と都市が調和した空間は、花壇作りやその魅力の発信に取り組むボランティアに支えられています。活動している方々に、その思いとおすすめの観賞スポットを聞きました。

【詳細】大通公園管理事務所 ☎251-0438

大通公園の花壇を
ボランティアとして管理する **橋場さん**にインタビュー

毎年参加して、仲間と一緒に花壇の手入れなどをしています。花や木々の成長の様子や、公園にあふれる香りから、季節を感じられますよ。作業していると、公園を訪れる市民の方や、観光客の方から「街なかにもきれいな花が咲くんですね」といった声を掛けてもらえるのがうれしいですね。



大通公園で市民や観光客への
ガイドボランティアとして活動する **佐藤さん**にインタビュー



皆さんと一緒に歩きながら、花や木々などを解説し、公園の魅力を伝えています。公園内の樹木は約90種4,700本、花壇は約50カ所あり、札幌で咲く花の多くが見られるんです。普段は通り過ぎることも多いかもしれませんが、ゆっくり眺めてみるときっと新たな発見がありますよ。

さっぽろみどりマップを配布中



企業と市民、商店街などが都心部に設置しているコンテナ花壇などを紹介。散歩のお供にご活用ください。

配布場所 区役所(1号)、時計台(中央区北1西2)、テレビ塔(中央区大通西1)ほか。

【詳細】みどりの活用担当 ☎211-2522

橋場さんのおすすめ

6丁目のボランティア花壇 見頃 4月下旬~10月



毎年違う花を植える一年草の花壇は、その年ならではの景色が見どころ。数年間同じ時期に花を咲かせる宿根草の花壇は、季節の変化を教えてくださいます。

雪が解けたら活動を始めています



4月には、前年に積もった落ち葉を片付けて、1年の活動をスタート。花の苗を植える準備を進めます。

佐藤さんのおすすめ

1丁目のスズラン 見頃 5月中旬~下旬

1丁目のガイドハウスの横にある高台は、実は札幌の花・スズランが咲くスポット。テレビ塔があり、散歩のスタート地点にも最適です。



12丁目のバラ園 見頃 6月中旬~10月中旬

ボランティアが管理している花壇の一つ。市の姉妹・友好都市にゆかりのあるバラをはじめ、56種約1,200株が見られます。



街を彩るみどりに
目を向ける



大通公園に約400株植えられているライラック。毎年5月中旬から見頃を迎える

都心のみどりの現状

面積に占めるみどりの割合が12.4%と、比較的少ない都心部*。その中でも大通公園や創成川公園などの大きな公園は、みどり豊かな憩いの場となっています。

※平成26(2014)年度調査



家庭で草花を育てる魅力

家庭や地域で草花を育てることは、その華やかさや香りを身近に感じられるだけでなく、景観づくりにもつながります。花を育て美しく彩る活動に携わる方に、おすすめの植物や育て方を聞きました。

寄せ植えなどの
教室を開いている **なかの 中野さんにインタビュー**

家の玄関先に花を飾りたいと思い、講習会などに参加して知識を深めました。今では、園芸の技法などを伝えられる資格を取り、自宅で少人数制の教室を開いたり、福祉施設の庭園の管理を手伝ったりしています。季節に合った植物を育てると心が癒やされますし、元気をもらえますよ。



自宅で植物を育ててみよう

そろえるもの 鉢、苗、培養土、肥料、土入れやスコップ、じょうろ、鉢底石、鉢底網など

中野さんのおすすめ

日当たりの良い庭やベランダで育てるなら

パンジーや
ビオラ



一輪一輪の表情が豊かな花。色や種類が豊富で、他の植物と組み合わせやすい。庭でも鉢でも春先から育てられる。

育て方 鉢植えは土の表面が乾いたら、鉢底から流れ出るまで水をやる。しぼんだ花を小まめに摘む。

室内で育てるなら

ポトスや
アイビー
などの観葉植物



丈夫で手入れが簡単なため、長期間楽しめる植物。落ち着いた色合いで場所も選ばず、フレッシュな雰囲気を出せる。

育て方 土の表面が乾いたらたっぷり水をやる。



▶中野さんが育てている寄せ植えの一つ。まだ咲き始めの花が多いが、暖かくなるにつれて花が開いて違った表情になるという

こんな育て方も

花を飾りたいけど場所がないなら



壁に掛けたりつるしたりできる「ハンギングバスケット」を使うとスペースを有効活用でき、庭がなくても花を楽しめる。

花は好きだけど土いじりが苦手なら

ヤシの実の繊維を使ったチップは軽くて繰り返し使える。培養土の代わりに使うと、清潔で虫がつきにくい。

中野さんも登録している

タウンガーデナーとして活動してみませんか

タウンガーデナーとは、札幌をよりみどり豊かな街にするための仲間づくりの制度です。登録するとボランティア団体の紹介や講習を受けられるほか、会報誌が届きます。イベントやワークショップも開催しており、花や緑を通じた交流が気軽にできますので、ぜひご登録ください。



◀公園の一角や歩道沿いの花壇、公共の敷地などを花や緑で彩る活動に参加する人が多い

▶ガーデニングの技術やみどりとまちづくりに関する知識を高められる講習会・講演会を開催している



対象市内に居住または市内で活動する18歳以上の方

申込花と緑のネットワーク事務局へ電話の上、申込書を提出。申込書はホームページからも入手可

申込先・詳細花と緑のネットワーク事務局

☎251-3309

さっぽろタウンガーデナー

植物を楽しめるおすすめの公園

豊平公園（豊平区豊平5の13）

季節の花々や札幌周辺の野草が見られる公園。海外や国内の針葉樹を集めた見本園では、森林浴が楽しめます。園内の緑のセンターにいる専門知識と経験が豊富な相談員に、園芸に関する相談ができる「緑の相談」も人気です。

交通機関 地下鉄東豊線豊平公園駅から徒歩1分
駐車場 53台。4時間まで無料 **詳細** ☎811-6568

緑の相談 ☎811-9370

相談日時 10時～12時、13時～16時。月曜

（祝日の場合は翌平日）、12/29～1/3を除く



百合が原公園（北区百合が原公園210）

25ヘクタールを超える敷地内に約6,400種類の植物が育つ公園。例年5月下旬にはウオーキングコースの一角にあるフジの花が満開になります。木陰になったベンチで、香りを楽しみながら一休みするのもおすすめ。公園の名前にもあるユリは、国内外でも珍しい原種や色鮮やかな園芸品種をそろえており、6月下旬から見頃を迎えます。

交通機関 地下鉄南北線麻生駅から中央バス[麻25][麻27]乗車、「百合が原公園前」下車。徒歩2分
駐車場 276台。無料

詳細 ☎772-4722



花とみどりを もっと身近に

私たちに安らぎを与え、季節ごとに鮮やかな景色を届けてくれる花とみどり。自然に目を向けたり、家庭で植物を育てたりすることは、みどりある景観を守ることにもつながります。できることから暮らしに取り入れてみませんか。